

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成18年12月28日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

- **需要面…個人消費は弱い動きとなっている。**
大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を下回った。(10月)
新設住宅着工戸数、公共工事請負金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、用途別着工建築物工事金額は前年を下回った。(11月)
- **産業面…持ち直しの動きがみられる。**
鉱工業生産指数が電気機械工業等の増により前月を上回った。(10月)
- **雇用面…おおむね横ばいとなっている。**
現金給与総額は前年を下回ったが、所定外労働時間は前年を上回った。(10月)
求人倍率は、新規、有効とも前月と同水準であった。(11月)

○需要面の動き

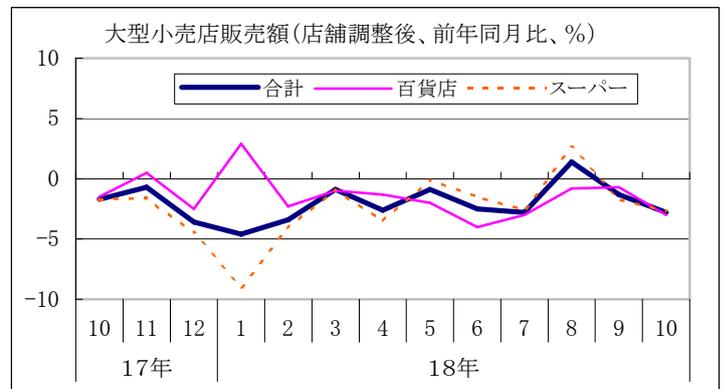
大型小売店販売額(10月)

全店舗の販売額は、53億5,950万円(前年同月比5.7%減)と15か月続いて前年を下回り、店舗調整後でも2か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	535,950	▲5.7 (▲2.8)
百貨店	220,212	▲3.0 (▲3.0)
スーパー	315,738	▲7.5 (▲2.7)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(10月)

30億4,832万円(前年同月比1.5%減)と3か月ぶりに前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(11月)

1,792台(前年同月比0.8%減)と5か月続いて前年を下回った。
これは、小型車(前年同月比10.3%減)が減少したことによる。

新設住宅着工戸数(11月)

465戸(前年同月比62.0%増)と2か月ぶりに前年を上回った。増加の内訳では、貸家の増加(前年同月比177.2%増)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(11月)

41億7,305万円(前年同月比62.7%減)と2か月ぶりに前年を下回った。用途別では、医療、福祉用(前年同月比74.5%減)等が前年を下回った。

公共工事請負金額(11月)

81億6,200万円(前年同月比11.4%増)と4か月ぶりに前年を上回った。発注者別の内訳では、国の増(前年同月比128.4%増)が大きな割合を占めた。

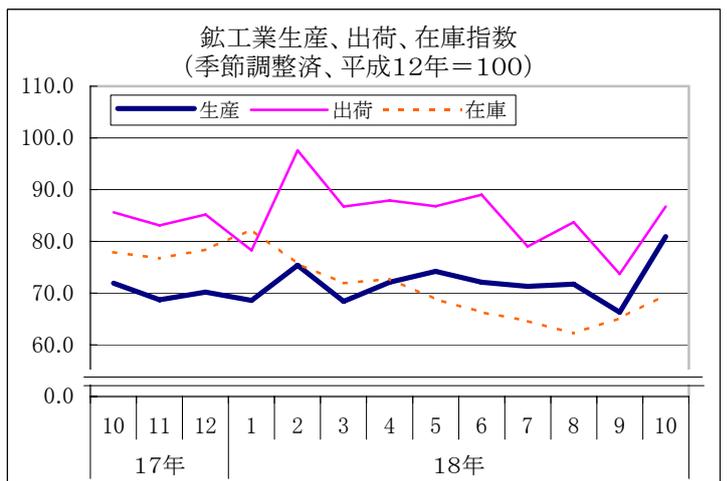
○産業面の動き

鉱工業指数(10月)

生産指数(季節調整済)が80.9となり、前月比は22.0%上昇し、原指数では82.9となり、前年同月比で14.5%上昇した。

内訳を前月比で見ると、電気機械が液晶素子等の生産増により45.8%上昇、食品・たばこが5.7%低下、一般機械が73.4%上昇、繊維が8.1%低下した。

在庫指数(季節調整済)は69.6と前月比6.9%上昇した。



大口需要電力実績(10月)

146,531千kwh(前年同月比1.8%増)と2か月ぶりに前年を上回り、鉱工業はパルプ・紙等で増となり3.5%増加した。

青果物卸売量(11月、鳥取市場)

野菜が1,443t(前年同月比5.6%減)と2か月ぶりに前年を下回り、果実は1,032t(前年同月比18.7%減)と6か月続いて前年を下回った。

漁獲量(11月、境港)

15,916t(前年同月比19.9%増)と4か月続いて前年を上回った。

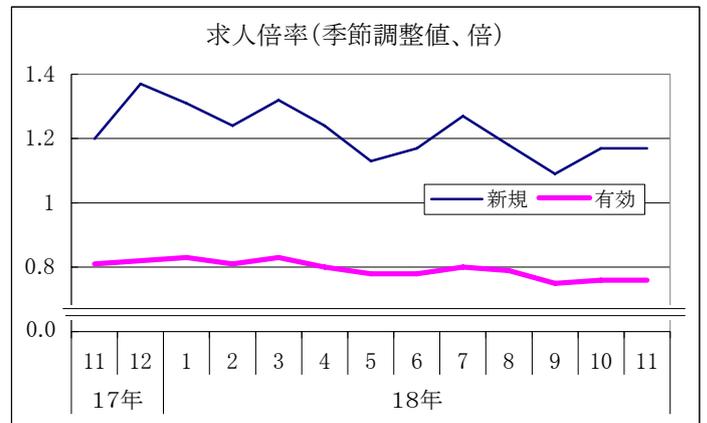
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(11月)

1.17倍(前月と同水準、前年同月差0.03ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、4,204人で前年同月比0.5%の増であった。

有効求人倍率(11月)

0.76倍(前月と同水準、前年同月差0.05ポイント低下)と8年9か月続いて1.0倍を割っている。



現金給与総額(10月)

252,180円(前年同月比1.7%減)と4か月続いて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、251,868円で4か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(10月)

9.5時間(前年同月比3.3%増)と3か月続いて前年を上回った。主力の製造業は4.7%減となった。実数による前年同月比では、教育、学習支援業(前年同月比209.4%増)等で前年を上回り、飲食店、宿泊業(前年同月比54.9%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(10月末)

預金残高は、1兆8,191億円(前年同月比0.2%増)と2か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,567億円(前年同月比1.5%減)と2か月続いて前年を下回った。

○参考

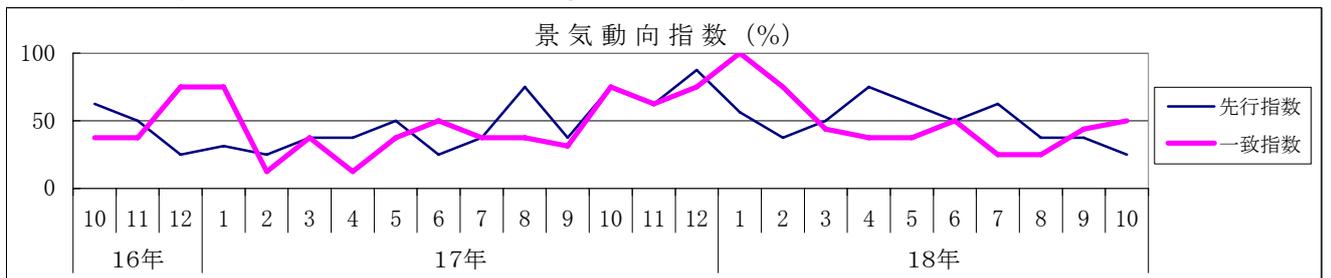
鳥取県景気動向指数(10月)

先行指数25.0%、一致指数50.0%、遅行指数60.0%となった。

先行指数は3か月続いて50%を下回った。

一致指数は3か月続いて50%を下回った後、50%となった。

遅行指数は4か月ぶりに50%を上回った。



企業倒産(11月)

件数は7件(前年同月比133.3%増)で3か月続いて前年を上回り、負債総額は6億5,500万円(前年同月比88.8%減)で4か月ぶりに前年を下回った。

消費者物価指数(11月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.1となり、前月比(0.6%下落)は2か月ぶりに下落し、前年同月比(0.4%下落)は3か月続いて下落した。

鳥取県の推計人口(12月1日現在)

603,825人で、前月と比べて169人(0.03%)減少し、前年同月と比べて2,962人(0.49%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成18年11月調査)

平成19年1~3月期は、平成18年10~12月期に比べると景気、売上高、経常利益のすべてで不調となる見通しとなっている。